

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	看護学研究概論 Nursing Research			担当 教員	グレッグ 美鈴 (専任) 江川 幸二 (専任)	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	共通科目	授業形態	講義・演習	
選択必修	必修	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		看護科学と伝統科学の特性と異動を概説し、看護学研究における2つの基本的アプローチである質的研究と量的研究の哲学的前提、方法論的基礎、データの特性、一般化の限界等について学ぶ。						
授業のキーワード		科学、質的研究、量的研究						
講義回数	授業内容及び計画							
第1回 ～ 第3回	I：看護研究の目的・意義 看護研究における倫理的側面 II：看護における知識基盤と看護研究：科学的知識の特性 III：質的研究と量的研究：その哲学的前提 方法論的特性							
第4回 ～	IV：量的研究の研究過程とタイプ 因子探索型研究、仮説検証型研究、因果関係検証型研究など 各研究デザインの特徴と研究プロセス、量的研究のクリティーク							
第10回	V：看護研究における倫理的配慮							
第11回 ～ 第14回	VI：質的研究の研究過程とタイプ グラウンデッド・セオリー、エスノグラフィー、現象学など どのような研究方法か どのような研究に適しているか 研究方法のプロセス 研究クリティーク							
第15回 第16回	VII：質的データ分析演習							
テキスト 参考文献	Polit,D.F. & Beck, C.T.(2004). Nursing Research: Principles and Methods, 7th Ed., Lippincott Williams and Wilkins. Burns,N. & Grove,S. (2004). The Practice of Nursing Research: Conduct, Critique, & Utilization, 5th Ed, WB Saunders C. 近藤潤子監訳(1996)看護研究 原理と方法, 医学書院. グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江編著よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして, 医歯薬出版.(2007) その他							
成績評価の方法 と基準	グレッグ：プレゼンテーション内容(20%)、ディスカッションへの貢献度(15%)、 データ分析演習成果(15%) 江川：プレゼンテーション(30%)、ディスカッションへの貢献度(20%)							
教員から学生へのメッセージ		おそらく、時間が足りません。上に示した内容をどのくらい行えるか、皆さんの準備にかかっています。そのつもりで、しっかりとやりましょう!!						